

事務事業評価表 平成25年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 安全な暮らしの確保
 基本事業 快適で安らげる生活環境の充実

事業名 **環境衛生対策促進事業**

[0249]

部名	生活環境部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	市民生活課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市内全域</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>畜犬の放し飼い等の防止や空き地の環境保全を促し、安全で快適な住環境の保全を図る。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>畜犬登録、狂犬病予防注射の実施、野犬掃とうの実施及び空き地の環境調査を行う</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	市内全域面積	Km ²	187.57	187.57	187.57	187.57
対象指標2						
活動指標1	市内巡回指導件数	件	79	104	71	120
活動指標2						
成果指標1	苦情件数	件	107	116	111	120
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	5,745	6,015	5,939	6,039
正職員人件費 (B)		千円	6,448	4,414	4,008	4,028
総事業費 (A) + (B)		千円	12,193	10,429	9,947	10,067

費用内訳	
24年度	報酬 3,432千円、需用費 612千円、役務費 456千円、委託料 1,439千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

狂犬病予防法に基づき畜犬登録、予防注射、野犬掃とうの実施
江別市空き地の環境保全に関する条例に基づき空き地の雑草等の繁茂の防止

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

狂犬病の発生を予防し、人や家畜への危害を防止する。
空き地の雑草等の除去を促し地域生活環境が確保される。

(3) 計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

犬の苦情については、広報活動や看板による啓発を継続して行うことで、放し飼いやフン害が前年より減ったことにより、巡回指導件数も減少し成果があがっているが、マナーの悪い飼い主には継続した指導を行っていく必要がある。
空き地の雑草等の草刈りについては、土地所有者に対し事前通知により草刈を依頼している。草刈り実施率は昨年より向上しているが、所有者が遠方にいることから、空き地に対する環境保全についての稀薄さから処理されないケースがあり、前年並みではあるが苦情は減らない。

(4) 成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

広報などで今後も周知し、犬の飼い方についてのマナーの向上を図る。
空き地等の所有者に指導、勧告、電話等で催告することで地域の生活環境が確保される。

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

犬の飼い方の指導の強化
空き地の所有者への周知徹底